

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 664 号

平成31年 2月20日編集

発 行 所
 公 益 社 団 法 人 埼 玉 県 獣 医 師 会
 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
 (埼玉県農業共済会館内)
 電 話 048(645)1906
 F A X 048(648)1865
 E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
 URL : http://www.saitama-vma.org/
 振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三男

編集責任者 大橋 邦啓

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

- 平成30年度埼玉県獣医師会新入会員研修会を
開催…………… 1
- 平成30年度日本獣医師会獣医学術学会年次大
会が神奈川県で開催…………… 3
- 埼玉県医師会の新年会に出席…………… 6

予告

- 西支部学術講習会のお知らせ…………… 7
- さいたま支部学術講習会のお知らせ…………… 7
- 北支部学術講習会のお知らせ…………… 8

ひろば

- さいたま支部学術講習会開催報告…………… 8
- 南支部学術講習会開催報告①…………… 9
- 南支部学術講習会開催報告②…………… 9
- 北支部学術講習会開催報告…………… 10
- 東支部新年会報告…………… 10

お知らせ

- 日本獣医師会からのお知らせ…………… 11
- 豚コレラの発生状況…………… 12

訃報

- 故 原久雄先生のご逝去を悼んで…………… 14

埼玉県獣医師会学術広報版 …………… 16

事務局より

- 事務局メモ…………… 18

編集後記…………… 19

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

平成30年度 埼玉県獣医師会 新入会員研修会を開催

平成31年1月31日（木）、「埼玉県農業共済会館」において開業部会及び勤務部会両運営委員会による新入会員研修会を開催しました。

午後1時30分から開始された研修会では、全ての新入会員を対象とした全体研修と、開業支部会員のみを対象とした開業支部会員研修が実施されました。



新入会員を前に全体研修会で挨拶する高橋三男会長

1 全体研修会

中村滋副会長の開会の言葉に続き、出席している新入会員と役員から自己紹介を頂いた後、高橋三男会長から、埼玉県獣医師会への入会を祝すとともに、「時は移り変わり、明治、大正、昭和は過ぎ去った過去となり、さらに平成も30年が過ぎ、間もなく過ぎ去ろうとしています。新しい時代は今までの社会習慣、環境とは大きく変わってしまうのだらうと思っています。そういう流れのなかで、新入会員の皆様方には、獣医師として先人の残した功績をしっかりと受け継いで、これからの新しい時代の主役となっていただき、ぜひ獣医師としての生涯を通して世のため人のため、動物たちのために頑張ってください。先輩の一人としてお願いをします。」と挨拶がありました。

続いて、獣医師定款や倫理などの全般的な内容について次のとおり研修が行われました。特に、顧問税理士の間嶋先生には、動物病院での雇用機会が増えるなか、社会保険制度や労働基準法などの雇用関係、税務関係、マイナンバー制度、収入印紙などについて講義をお願いいたしました。

- ① 獣医師のあり方について（中村滋開業部会第1運営委員長）
- ② 埼玉県獣医師会会員憲章について（大橋邦啓総務委員長）
- ③ 埼玉県獣医師会定款・諸規程について（大橋邦啓総務委員長）
- ④ 獣医師倫理について（中村滋獣医事調査委員長）
- ⑤ 獣医師関係法令について（岩田信之勤務部会運営委員長）
- ⑥ 雇用・税務関係について（顧問税理士 間嶋順一先生）

2 開業支部会員研修会

午後3時50分からは、開業支部の新入会員のみを対象として、開業獣医師にとって必要な法律手続きや診療業務にあたっての心構え、集合狂犬病予防注射事業の事務手続きなどについて研修が行われました。

- ① 開業獣医師に係る関係法令について（小暮一雄開業部会第2運営委員長）
- ② 集合狂犬病予防注射の実施について（渋谷正志狂犬病予防委員長）

講義の終了後には、動物病院に掲示する「埼玉県獣医師会開業会員証」を受講者に交付いたしました。

今回の研修会には、お忙しい中、32名（開業8名、勤務24名）の新入会員のうち17名（開業7名、勤務10名）が出席されました。参加者は配布された多くの資料に目を通しながら講義に聞き入り、午後5時まで熱心に受講されていました。

広告

わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">胃腸と皮膚が気になる犬に</p> <p>Dr. CREDO No.1 胃腸と皮膚が気になる 小犬のための総合栄養食</p> <p>ドクタークレド Dr. CREDO No.1 成犬用 総合栄養食 1kg・3kg</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">血流と健康が気になる犬に</p> <p>Dr. CREDO No.2 血流と健康が気になる 中・高齢犬のための総合栄養食</p> <p>ドクタークレド Dr. CREDO No.2 中・高齢犬用 総合栄養食 1kg</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">下部尿路が気になる成猫に</p> <p>下部尿路に配慮した 成猫のための総合栄養食</p> <p>Dr. IDEA No.1</p> <p>ドクターイデア Dr. IDEA No.1 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成猫の体重管理に</p> <p>体重管理に配慮した 成猫のための総合栄養食</p> <p>Dr. IDEA No.2</p> <p>ドクターイデア Dr. IDEA No.2 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)</p>
---	---	--	---

M 森久保薬品株式会社

神奈川：046-221-0620 山梨：055-224-5278 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 栃木：028-666-3399 茨城：0296-43-1661 成田：0476-40-5811 茂原：0475-24-1613

平成30年度日本獣医師会獣医学術学会 年次大会が神奈川県で開催

日本獣医師会主催の平成30年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会が、神奈川県横浜市で次のとおり開催されました。

日 時 平成31年2月8日（金）から10日（日）までの3日間
 会 場 新横浜プリンスホテル
 参加登録者 約1,200名



会場全景



会場入口

1 主なプログラム

(1) 地区学会長賞受賞講演

全国9ブロックの獣医学術地区学会で地区学会長賞を受賞した研究演題が発表されました。各学会での発表演題数などは次のとおりです。

- ア 日本産業動物獣医学会
 発表演題数 19題（うち関東・東京合同地区 2題）
 学会長 佐藤 繁 岩手大学農学部教授
- イ 日本小動物獣医学会
 発表演題数 18題（うち関東・東京合同地区 2題）
 学会長 佐藤れえ子 岩手大学農学部教授
- ウ 日本獣医公衆衛生学会
 発表演題数 11題（うち関東・東京合同地区 1題）
 学会長 丸山総一 日本大学生物資源科学部教授

《日本獣医師会獣医学術賞受賞者一覧》

これらの発表の中で獣医学術奨励賞を受賞した講演は次のとおりです。

【産業動物部門】

妊娠後期に腸管手術を実施したサラブレッドの血中プロゲステロン及びエストラジオール測定による妊娠管理

佐藤正人（日高地区農業共済組合家畜診療センター）、他

【小動物部門】

獣医神経病2次施設における犬の神経病発生状況調査

中本裕也（KyuoAR獣医神経病センター）

【公衆衛生部門】

輸入カニクイザルにおける結核症の集団発生事例

大江紗希（農林水産省動物検疫所）、他

(2) シンポジウム

小動物、産業動物、公衆衛生の各分野をはじめ、日本、韓国、台湾の東アジア三カ国獣医師会サミットやワンヘルスに関する日本医師会や厚生労働省との連携シンポジウムなど、幅広い分野で数多くのシンポジウムが開催されました。

(3) 市民公開シンポジウム・市民公開講座

市民に公開されたプログラムは以下のとおりでした。

- ア 畜産物の安全確保と販売戦略 ～安心・安全な畜産物を提供するために～
- イ 農場管理獣医師の仕事を知っていますか
- ウ 人と動物がともに暮らしやすい社会を目指して
～一人ひとりができること～
- エ 学校動物飼育の支援のあり方を考えよう

《本会会員が発表した講演》

日本獣医師会が主催した市民公開シンポジウム「農場管理獣医師の仕事を知っていますか」では、大橋邦啓先生（北支部）が「肉用牛の生産現場における管理獣医師の役割」について講演しました。

また、同シンポジウムでは、埼玉県深谷市の橋本ファームの関連会社である岩手県一関市の（株）アークの橋本友厚専務取締役が「農場HACCPとJGAPの取組みについて」と題して講演をしました。

(4) 教育講演など

この他、麻布大学、日本大学での小動物臨床実習やランチョンセミナーをはじめ、各種の教育講演などが行われたほか、酪農学園大学など5大学の同窓会ブースも設置されました。



講演した大橋邦啓先生

2 歓迎交流会

19日（土）の午後6時から、5階シンフォニアを会場にして神奈川県獣医師会の主催による歓迎交流会が開催されました。まず、交流会の主催である神奈川県獣医師会を代表して鳥海弘会長が、また、学会並びに年次大会の主催者を代表して藏内勇夫日本獣医師会会長が挨拶したあと、来賓の黒岩祐治神奈川県知事から歓迎の挨拶があり、北村直人日本獣医師会顧問の乾杯により懇親に入りました。

歓迎交流会には、全国の獣医師会会員を始め、各学会の運営委員や行政機関の方々などが参加し、和やかな雰囲気の中で交流を深めておりました。



左から 林繁雄理事、中村滋副会長、鳥海弘神奈川県獣医師会会長、高橋三男会長、大橋邦啓理事
藏内勇夫日本獣医師会会長、北村直人日本獣医師会顧問、福田昌治産業動物獣医学会幹事
(農林支部)小暮一雄副会長

なお、今後の年次大会の開催日程は、次のとおりです。引き続き、
会員の先生方の御協力をお願いします。

平成32年度

開催地 東京国際フォーラム（東京都千代田区）

期 日 平成32年2月7日（金）～9日（日）



右から 高橋三男埼玉県獣医師会会長
交流会を主催した鳥海弘神奈川県
獣医師会

埼玉県医師会の新年会に出席

平成31年2月2日（土）午後6時から、パレスホテル大宮で開催された第4回埼玉県医師会新年会「2019新春の集い」に高橋三男埼玉県獣医師会会長が来賓として招待され、参加いたしました。

新年会には、国会議員や県議会議員、市町村長など多くのご来賓が招かれるなか、医師会会員をはじめ医療関連団体など550名を越す方々が出席しました。

主催者の金井忠男埼玉県医師会長の挨拶と来賓代表の横倉義武日本医師会長、上田清司埼玉県知事の挨拶などに続いて行われた「鏡開き」には高橋会長も登壇されるなど、盛大な新年会となりました。



鏡開きには高橋三男会長が登壇(右から2人目)

狂犬病や高病原性鳥インフルエンザをはじめとする多くの人と動物の共通感染症の流行制御への関心や、食品の安全性確保に関する意識が高まる中、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することが求められ、平成25年12月に「公益社団法人日本医師会と公益社団法人日本獣医師会の学術協力に関する協定書」が締結され、翌年10月には「一般社団法人埼玉県医師会と公益社団法人埼玉県獣医師会の学術協力の推進に関する協定書」を締結しました。その後、全国47都道府県の獣医師会が同様の協定を締結しています。

また、一昨年(平成30年)の11月には第2回世界獣医師会—世界医師会“One Health”に関する国際会議が福岡県北九州市内で開催されるなど、獣医師会と医師会の連携が益々強まる中、埼玉県医師会や関連団体との交流を深めることができました。

予 告

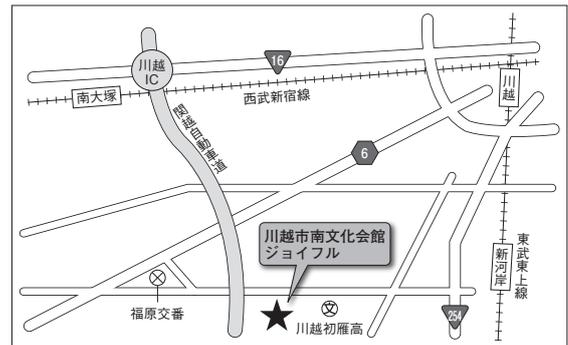
西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4))

西支部長 別部 博司
学術委員 佐藤 博司

西支部では、2019年3月17日(日)に『どうぶつの総合病院』神経科 金園 晨一先生をお招きして「早期に2次診療を受けるべき神経疾患」の演題で学術講習会を開催します。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

- 日 時：平成31年3月17日(日)
13:30～16:30 (13:00受付)
- 場 所：川越南文化会館 (ジョイフル)
川越市今福1295-2
TEL 049-248-4115
- 演 題：「早期に2次診療を受けるべき神経疾患」
- 講 師：どうぶつの総合病院 神経科主任 金園 晨一 先生



- 参加費：埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円

さいたま市支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(2) 小2(4) 小3(6))

さいたま市支部長 山中 利之
学術委員 土谷 寛

さいたま市支部では、平成31年3月17日(日) JASMINE どうぶつ循環器病センター 上地正実先生をお招きして、「僧帽弁閉鎖不全症の内科治療と外科治療」をご講演いただきます。

日常の診療で最も診る機会の多い僧帽弁閉鎖不全症の内科治療ガイドラインのアップデートと、最新心臓外科の情報についてご紹介いただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 時：平成31年3月17日(日)
13:30～17:00
- 場 所：WithYouさいたま 視聴覚セミナー室
(ブリランテ武蔵野 4F)
さいたま市中央区新都心2-2
TEL 048-601-3111
- 講 演：「僧帽弁閉鎖不全症の内科治療と外科治療」
- 講 師：JASMINE どうぶつ循環器病センター 上地 正実 先生



- 参加費：埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円

北支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(4) 小3(6))

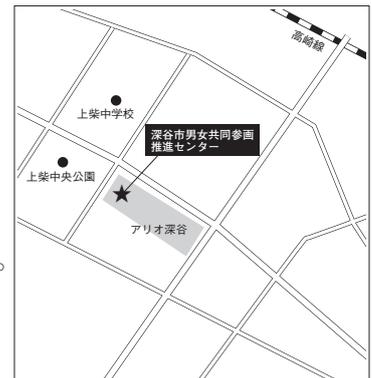
北支部長 大橋 邦啓
 学術委員 田口 正行

北支部では3月24日に、ベーリンガーインゲルハイムジャパン株式会社の協賛のもと、宮崎大学の中村健介先生をお招きして学術講習会を開催いたします。

テーマは、「循環器セミナー2019：変わりつつある僧帽弁閉鎖不全症の治療」です。
 多くの先生方のご参加をお待ちしています。

日 時：平成31年3月24日（日）
 13：30～17：00（受付13：00～）

場 所：深谷市男女共同参画推進センター 多目的ホール
 深谷市上柴町西4-2-14
 アリオ深谷3F（食品売り場エレベーターから）
 TEL 048-573-4761
 ※深谷駅南口よりアリオ深谷行の無料循環バスが運行しています。



演 題：「循環器セミナー2019：変わりつつある僧帽弁閉鎖不全症の治療」

講 師：宮崎大学 テニユアトラック推進機構
 獣医内科学分野 テニユアトラック准教授 獣医師・博士（獣医学）
 中村 健介 先生

参加費：埼玉県獣医師会会員 無料
 会員外の受講者 3,000円

ひろば

さいたま市支部学術講習会開催報告

さいたま市支部長 山中 利之
 学術委員 土谷 寛

1月20日（日）WithYouさいたま 視聴覚セミナー室にてTRVA夜間救急動物医療センター副院長 塗木貴臣先生をお招きして「救急診療のオキテ」というタイトルでご講演いただきました。

呼吸、循環、脳神経疾患の救急診療の症例についてわかりやすく講義していただきました。救急における肺エコー検査や的確な重症度判定など、明日から役立つ内容をご講義いただきました。おかげさまで大変有意義な研修会となりました。

ご参加くださいました先生方に心より感謝申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
45名	31名	3名	0名	0名	4名	7名	0名

南支部学術講習会開催報告①

南支部長 田中 裕
学術委員 大野 潤

南支部では1月20日（日）にTKPガーデンシティPREMIUM大宮にてDSファーマアニマルヘルス株式会社協賛による学術講習会を開催いたしました。

講師として酪農学園大学、獣医学類伴侶動物内科学ユニットⅡ准教授の堀泰智先生をお招きし、「犬の僧房弁閉鎖不全症の診療アップデート」というテーマでご講演いただきました。

犬の僧房弁閉鎖不全症に伴う、うっ血性心不全の予測因子としての心臓バイオマーカーについて、それぞれの評価法や違いについて、実際の症例をもとにわかりやすくご説明頂きました。また、肺水腫における心エコーの補助として普段聞きなれていなかった肺エコーの有用性についてや、現時点での僧房弁閉鎖不全症に対する各種薬剤の使用ポイントなど、日々の診療でも活用できる、アップデートされた情報を多くのエビデンスや経験に基づき順路立ててご説明頂いたので、内容の充実した非常に密度の濃い3時間となりました。また、DSファーマアニマルヘルスさんによる積極的なアナウンスのおかげもあり、例年より多くの参加者に出席いただき、参加者の先生方にとりましても非常に興味深い講習会になったのではないかと思います。

堀先生にはお忙しい中、貴重なお時間をいただき、非常にわかりやすくご講演頂きました。

また、協賛していただきましたDSファーマアニマルヘルス株式会社様にも厚く御礼申し上げます。そして、堀先生並びにご参加して下さった先生方に心より感謝申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
77名	1名	34名	2名	1名	7名	8名	24名

南支部学術講習会開催報告②

南支部長 田中 裕
学術委員 大野 潤

南支部では2月11日（月）に埼玉会館にて学術講習会を開催いたしました。

講師としてカルフォルニア大学デイビス校、日本獣医生命科学大学ポストドクターの田中亜紀先生をお招きし、「災害時の動物管理について」というテーマでご講演いただきました。

まず災害獣医学概論として、災害時における獣医師の役割や、災害時のマニュアル作成および危機管理対応についてご説明頂きました。近年日本国内でも大きな災害が発生している中、災害時に獣医師として関わっていくことの重要性をわかりやすくご説明頂きました。

第2部として、災害時のシェルターメディスンというテーマで、保護された動物たちの管理の仕方と小動物臨床現場での管理の違い、感染症に対する予防の重要性など、学生時代に聞くことのなかったシェルターメディスンという分野を、国内で起こった実際の災害時のアンケートや研究に基づいてわかりやすくご説明頂きました。また、臨床現場で敬遠しがちな安楽死への考え方についても熱心に語っていただきました。充実した密度の濃い講義内容で、3時間が短く感じられました。

今回は獣医師の先生方だけでなく、災害時の動物管理にご興味をお持ちの自治体の職員の方々も多くご出席いただきました。ご質問も多く、非常に興味深い講習会になったのではないかと思います。

田中先生にはお忙しい中、貴重なお時間をいただき、非常にわかりやすくご講演頂きました。田中亜紀先生並びにご参加して下さった先生方に心より感謝申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	衛生支部	団体支部	会員外
32名	1名	16名	1名	0名	2名	1名	0名	11名

北支部学術講習会開催報告

北支部長 大橋 邦啓
 学術委員 田口 正行

2月3日（日）熊谷市 ホテルシティーフィールドかごはらにおいて、日本大学獣医外科学教室准教授の枝村一弥先生をお招きし、『整形外科疾患と神経疾患の違いを見きわめる～CT検査とMRI検査を行う前に1次診療医は何をするべきか～』とのタイトルで講習会を開催いたしました。

日本大学で使用されている整形外科カルテと神経学的検査シートに基づいての検査を行っていく事で、確定診断に近づいていく方法を、わかりやすく丁寧に教えていただきました。講義の上手な枝村先生らしく、講習中に居眠りをしている人は皆無で、集中力を切らすことなく講演を聞くことが出来ました。質疑では、猫の疼痛管理の方法についての詳細な説明もあり、充実した講演でした。

講習終了後には、ホテル内で部屋を移動して懇親会が和やかに開催されました。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
25名	4名	2名	0名	13名	2名	1名	3名

平成30年度東支部新年会報告

東支部長 渋谷 正志

1月27日（日）越谷市越谷サンシティにて平成30年度東支部新年会を開催いたしました。

支部員の先生方65名の出席、来賓としてご多忙の中、高橋三男埼玉県獣医師会会長、中央家畜保健衛生所 所長 岩田信之先生、熊谷家畜保健衛生所 所長 野沢裕子先生にご臨席を賜り、また獣医師会賛助会員の方々の出席と大変盛大な新年会となりました。

第1部では、長谷川副支部長の司会で、渋谷支部長の新年の挨拶、業務連絡をつつがなく行い、高橋会長に新年の祝辞のお言葉を頂きました。

第2部では、青山副支部長の司会で、初めに岩田信之先生に祝辞のお言葉、野沢裕子先生に乾杯の挨拶を頂き宴会の開始となりました。

また宴会の盛り上げ余興として幸手班 大橋先生ご推薦のタヒチニアンダンスで大いに宴会を盛り上げてくれました。

そして2時間の宴会時間もあっという間に過ぎ去り、会の最後は吉川分会 千葉先生の一締め、大トリを中村県獣医師会副会長の指揮のもと渋谷支部長、東支部へのエールの合唱でしっかりと締めて頂きました。

普段なかなかゆっくりとできない支部員の先生同士で食事をしたり、お酒を飲む機会が出来、本年度も渋谷支部長のもと本年度も東支部は一致団結を確認できた1日でした。

お知らせ

事務連絡

平成31年1月9日

地方獣医師会会長各位

公益社団法人日本獣医師会
専務理事 境 政 人

動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を 改正する省令の制定について

このことについて、平成30年12月21日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）第83条の4第1項の規定に基づき、動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する省令（平成30年農林水産省令第80号）が公布・施行され、①「オルビフロキサシンを有効成分とする注射剤」について、牛に対する静脈注射に係る「用法及び用量」及び「使用禁止期間」を追加、②硫酸カナマイシンを有効成分とする飼料添加剤、飲水添加剤、強制経口投与剤及び気管内投与剤については、製造販売承認が整理されており、販売されていないため、これらの動物用医薬品の使用者が遵守すべき基準を削除すること、③「硫酸カナマイシン及びベンジルペニシリンプロカインを有効成分とする配合剤たる乳房注入剤」について、「使用禁止期間」を「食用に供するためにと殺する前7日間又は食用に供するために搾乳する前96時間」とすることについて本会に連絡されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡

平成31年1月29日

地方獣医師会会長各位

公益社団法人日本獣医師会
専務理事 境 政 人

「海外から渡航する補助犬使用者への対応について」 に関する周知へのご協力をお願い

このことについて、平成31年1月17日付け事務連絡をもって、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、海外から短期間来日する補助犬使用者が、補助犬を同伴して国内施設等を円滑に利用できるよう、期間限定証明書を発行することを含めた対応ガイドラインを厚生労働省が制定した旨、通知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

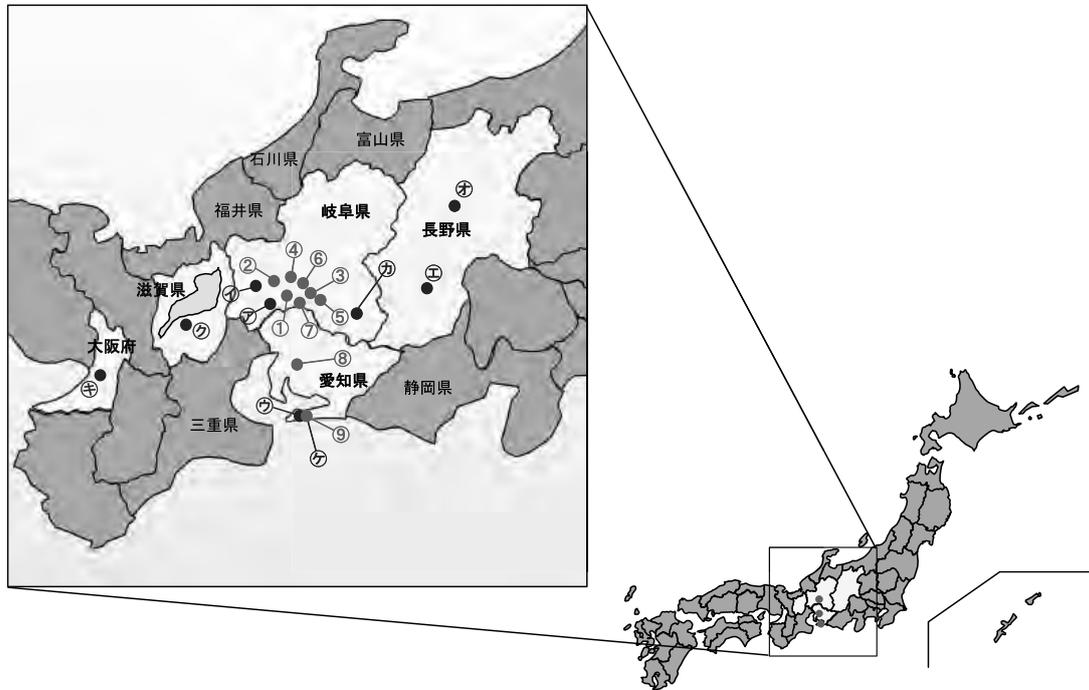
厚生労働省のホームページに掲載されている対応ガイドライン
(<https://www.mhlw.go.jp/content/000417061.pdf>)

豚コレラの発生状況

豚コレラの発生対応(概要)

平成31年2月18日9時現在

発生概要(9農場 17,458頭)			農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)			
発生場所	発生日	飼養頭数*(種別) <small>*飼養頭数は発生確定時の頭数</small>		措置完了日(の目安)		17日目	28日目
				防疫措置(殺処分、消毒等) 開始	完了	撤出制限区域 解除	移動制限区域 解除
① 豚一貫農場 (岐阜県岐阜市)	2018年 9月9日	579頭 (繁殖75頭、肥育362頭、子豚142頭)	9月9日	9月9日 6時00分	9月11日 14時00分	9月29日0時解除	10月10日0時解除
② 畜産センター公園 (岐阜県岐阜市)	2018年 11月16日	21頭 (子豚21頭)	-	11月16日 1時00分	11月16日 15時00分	12月4日0時解除	12月15日0時解除
③ 畜産研究所 (岐阜県美濃加茂市)	2018年 12月5日	503頭 (繁殖184頭、肥育102頭、子豚217頭)	12月5日	12月5日 5時30分	12月7日 15時32分	12月25日0時解除	1月5日0時解除
④ いのしし飼養施設 (岐阜県関市)	2018年 12月10日	22頭 (いのしし22頭)	-	12月10日 11時30分	12月11日 15時56分	12月29日0時解除	1月9日0時解除
⑤ 農業大学校 (岐阜県可児市)	2018年 12月15日	10頭 (繁殖3頭、肥育7頭)	-	12月15日 20時30分	12月16日 15時35分	1月3日0時解除	1月14日0時解除
⑥ 豚一貫農場 (岐阜県関市)	2018年 12月25日	7,861頭 (繁殖751頭、肥育2,410頭、子豚4,700頭)	-	12月25日 7時30分	12月28日 8時10分	1月16日0時解除	1月26日0時解除
⑦ 豚一貫農場 (岐阜県各務原市)	2019年 1月29日	1,662頭* (繁殖127頭、子豚1,535頭)	-	1月29日 9時00分	1月31日 7時00分	2月18日0時解除	3月1日0時 解除予定
と畜場(㊦) (岐阜県岐阜市)	(関連と畜場)	(係留頭数)149頭*	-	1月29日 17時45分	1月31日 7時00分	-	-
豚肥育農場(㊧) (岐阜県本巣市)	(関連農場)	867頭* (肥育豚867頭)	-	1月30日 13時20分	2月1日 6時50分	-	-
⑧ 豚一貫農場 (愛知県豊田市)	2019年 2月6日	5,620頭*	2月6日	2月6日 午前	2月12日 8時00分	3月2日0時 解除予定	3月13日0時 解除予定
豚肥育農場(㊨) (愛知県田原市)	(関連農場)	1,495頭* (肥育1,495頭)	-	2月6日 13時00分	2月10日 21時00分	-	-
豚肥育農場(㊩) (長野県宮田村)	(関連農場)	2,444頭* (肥育2,444頭)	-	2月6日 13時00分	2月8日 17時30分	-	-
と畜場(㊪) (長野県松本市)	(関連と畜場)	(係留頭数)38頭*	-	2月6日 11時00分	2月8日 17時30分	-	-
豚一貫農場(㊫) (岐阜県恵那市)	(関連農場)	4,284頭* (親豚121頭、子豚4,163頭)	-	2月6日 9時00分	2月8日 17時10分	-	-
豚肥育農場(㊬) (大阪府東大阪市)	(関連農場)	737頭* (肥育737頭)	-	2月6日 9時30分	2月15日 17時30分	-	-
豚肥育農場(㊭) (滋賀県近江八幡市)	(関連農場)	699頭* (肥育699頭)	-	2月6日 10時30分	2月8日 17時45分	-	-
豚一貫農場(1戸2農場) (愛知県田原市)	2019年 2月13日	1,180頭* (繁殖130頭、肥育1,050頭)	-	2月13日 8時00分	-	-	-
養豚団地関連(7戸14農場)(㊮) (愛知県田原市)	(関連農場)	13,420頭* *精査中	-	-	-	-	-



平成31年2月18日現在

岐阜県における豚コレラの疑似患畜の確認（国内10例目）について

平成31年2月19日

農林水産省

本日、岐阜県瑞浪市の養豚農場において豚コレラの疑似患畜が確認されました。

本病の防疫措置等について万全を期します。

当該農場は、豚コレラの疑いが生じた時点から飼養豚の移動を自粛しています。

現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1. 発生農場の概要

所在地：岐阜県瑞浪市

飼養状況：肥育豚5,775頭

2. 経緯

(1) 岐阜県は、2月18日（月曜日）、食欲不振豚がいるとの農場からの報告を受け、家畜防疫員が立入検査を実施しました。

(2) 同日、家畜保健衛生所での検査により豚コレラの疑いが生じたため、精密検査を実施したところ、本日（2月19日（火曜日））、豚コレラの疑似患畜であることが確認されました。

3. 今後の対応

「豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、以下の防疫措置等について万全を期します。

(1) 当該農場の飼養豚の殺処分及び焼埋却、移動制限区域の設定等の必要な防疫措置を迅速かつ確実に実施します。

(2) 感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道に消毒ポイントを設置します。

(3) 感染経路等の究明のため、国の疫学調査チームを派遣します。

(4) 本病の早期発見及び早期通報の徹底を図ります。

(5) 関係府省と十分連携を図るとともに、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努めます。

(6) 農場の消毒や野生動物の農場への侵入防止等の飼養衛生管理基準の遵守に関する指導を徹底します。

(7) 感染経路等の究明及びまん延防止のため、あらゆる可能性を想定し調査します。

4. その他

(1) 豚コレラは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。

(2) 当該農場は、豚コレラの疑いが生じた時点から飼養豚の移動を自粛しています。

(3) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターを使用するの取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。

(4) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

出典:農林水産省Webサイト

(<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/190219.html>)

故 原久雄先生のご逝去を悼んで

東支部越谷分会の原久雄先生（元理事）に於かれましては、平成31年1月19日（土）、ご逝去されました（享年93歳）。1月23日（水）に通夜、1月24日（木）に告別式が越谷市斎場において執り行われ、多くの会員が原先生との別れを惜しましました。

高橋三男会長は告別式において会葬者を代表して弔辞を述べました。

お別れの言葉

先生、原久雄先生、岩槻の高橋三男でございます。

去る19日、埼玉県獣医師会事務局から先生の訃報を耳にして、まさかなにかの間違ひではないかと我が耳を疑いましたが、真実と聞いて本当に痛恨の極みであります。

先生は大正末期に宮城県に生を受け、そして戦中戦後の我が国の歴史に残る苦悩のときに、宇都宮で学生時代を過ごされ、その後、縁あってこの地で獣医師として開業され、特に戦後においては食料がない、着る物もないという、ないづくしの世の中において、本当に苦勞し、人生としてはマイナスから出発をしました。我が国の現在の繁栄を見ると、先生が我が国、我が地域、我が家族のために汗を流し、そして国のために血を流した同志や友のために涙を流しながら築き上げたその93年にわたる功績の賜物であると思っています。今や会員数が千名になんなんとする埼玉県獣医師会に先生は昭和27年に入会され、現在までご活躍、ご指導をいただきました。先生が残された功績は数々の思い出として私たちの脳裏に今蘇っております。

そして家庭においては次男の史典先生が獣医師としてこの道を受け継がれ、今や北海道で奥様ともども先生の意思を継いで立派にご活躍なさっているとお話しを聞き、我々としても非常に心強く感じているところでございます。また長男の弘明さんは優秀な大学を卒業され、日立製作所に勤務後はアメリカにおいて日本の技術を広めることにより、我が国がIT社会を迎えるその祖をなしていただき、大きな実績を残されました。

私は埼玉県獣医師会に入会し、先生から六十数年にわたりご指導いただきました。地元越谷の先生はみんな先生の愛弟子であります。昨夜のお通夜には、地元からそして埼玉県下から先生を慕った数多くの先生が感謝の弔問にお出でいただき、また本日は先生と同窓である宮澤勉先生、また地域において先生の開業とともに父親の家畜病院を受け継いだ桑島盛代先生、そして先生のよき飲み友達であり、同志でもありました元埼玉県獣医師会副会長で、久喜市で開業していた渋谷晃先生のご子息の渋谷正志先生が埼玉県獣医師会東支部の支部長として出席していただいております。

大正、昭和、平成と三代にわたった先生のご功績ですが、本年は新しい年号を迎える年であ



ります。地域において家畜の命と健康を守っていただき、戦後良質な蛋白の供給に努力なされた先生の人生の前半の30年、そして後半は奥様と共に名犬ラッシーのテレビドラマで有名になったコリーの日本の繁殖者の第一人者として、また埼玉県コリー協会の会長として現在の家庭動物ブームの祖となりました。また、先生は学位を取得し、獣医師会では小動物獣医学会の評議員を長く務め、ご自身でも関東地区の学会で優秀賞となり、全国の学会で発表もした学術派でもありました。今の若い先生方には知り得ない大きな功績を私は獣医師会の会長としてしっかりと受け継いで、皆さんにお伝えしていく、そして獣医師会は限りなく発展をし、しっかりと道を誤らないようにしていかなければなりません。

これからは先生とはお話しをすることはできません。しかし幸い、昨年4月に史典先生から父が会長に会いたいと言っているということをお伺いし、早速先生が入院されている病院に駆け付けました。3時間お話しをしてお別れする時の、高橋君頼むよと言って90年も使い続けたその苦勞した手であらゆる力を振り絞って私の手を握っていただいたその固い握手と、その時に腫の奥がキラリと光った力強い眼差しを私は忘れることはできません。その誓いの握手をしっかりと守ってこれからも頑張ってお参ります。

先生、今までほんとうに長い間ありがとうございました。天国から原家のご家族の皆様方のご多幸をお祈りいただくとともに、我々獣医師会にも時には天国から声なき声で高橋しっかりとやれ、獣医師会がんばれ、こんな激励のことばをいただければありがたいと思っています。私たちは時代が変わっても原先生の功績は忘れません。どうか安らかにお休みください。

本当にありがとうございました。

原久雄先生、さようなら、

さようなら、ありがとうございました。

平成31年1月24日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男



弔辞を述べる高橋三男会長



棺に納められた学位記と賞状

平成30年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成31年 2月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4月			
5月			
6月15日(金) ～17日(日)	第96回日本獣医麻酔外科学会／第108回日本獣医循環器学会／第63回日本獣医画像診断学会 2018春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
7月1日(日)		南支部 「手術の基本とアップデート」 日本大学 浅野 和之 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
7月16日 (月・祝)		東支部 「猫のリンパ腫2018」 日本小動物がんセンター 小林哲也 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
7月29日(日)		北支部 「犬の正常を知る」 アニマルクリニックこばやし 小林孝之 先生 (深谷市 埼玉グランドホテル深谷)	
8月			
9月9日(日)	平成30年度 関東・東京合同地区獣医師大会(茨城)獣医学術関東・東京合同地区学会 (茨城県つくば市 つくば国際会議場)		
9月30日(日)		西支部 「家庭動物の終末期獣医療におけるアジェンダ」 「ホームドクターによるイヌの僧房弁逸脱症の臨床」 所沢愛犬病院 小暮 一雄 先生 (東松山市 ホテル紫雲閣)	
10月19日(金)	北支部・しゃくなげ会 「酪農場ベンチマーキングについて」 千葉県農業共済組合連合会 清水 秀茂 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月21日(日)		東支部 「犬の蛋白漏出性腸症 UPDATE2018」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
11月4日(日)		南支部 「犬と猫の消化器の超音波画像診断」 どうぶつの総合病院 福田 祥子 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
12月9日(日)		北支部 「疼痛を主徴とする神経筋疾患の診断と治療」 獣医神経病クリニックACORN 奥野 征一 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	
12月9日(日)		東支部 「犬と猫の糖尿病の維持管理、糖尿病性ケトアシドーシス」 まつき動物病院 松木 直章 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月21日(金)	農林支部 平成30年度埼玉県家畜保健衛生 生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成31年 1月20日(日)		さいたま市支部 「救急診療のオキテ」 TRVA夜間救急動物医療センター 塗木 貴臣 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
1月20日(日)		南支部 「犬の僧帽弁閉鎖不全症の診療アップデート」 酪農学園大学 堀 泰智 先生 (さいたま市 TKPガーデンシティPREMIUM大宮)	
2月3日(日)		北支部 「整形外科疾患と神経疾患の違いを見きわめる」 日本大学 枝村 一弥 先生 (熊谷市 ホテルシティーフィールドかごはら)	

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
2月8日(金) ～10日(日)	平成30年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(神奈川) (新横浜プリンスホテル)		
2月11日 (月・祝)		南支部 「災害時の動物管理について」 カルフォルニア大学 田中 亜紀 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
2月21日(木)			衛生支部 食肉衛生技術研修会 (さいたま市 県食肉 衛生検査センター)
3月3日(日)		西支部 「初めての行動治療学～診断から薬物療法まで～」 日本獣医生命科学大学 水越美奈 先生 (川越市 川越南文化会館)	
3月17日(日)		さいたま市支部 「僧帽弁閉鎖不全症の内科治療と外科治療」 JASMINEどうぶつ循環器病センター 上地正実 先生 (さいたま市 WithYou さいたま)	
3月17日(日)		西支部 「早期に2次診療を受けるべき神経疾患」 どうぶつの総合病院 金園 晨一 先生 (川越市 川越南文化会館)	
3月24日(日)		北支部 「循環器セミナー2019：変わりつつある僧 帽弁閉鎖不全症の治療」 宮崎大学 中村 健介 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	

広告

KMバイオロジクスは 狂犬病の予防啓発に取り組んでいます。

kmb

【一般の飼い主さん向け資材】



アニメーション「狂犬病ワクチンを注射しましょう」



動画はこちら



リーフレット
「狂犬病について考えてみよう」



製造販売元
KMバイオロジクス株式会社 ☎(096)345-6505(営業直通)
☎(03)3443-0177(東京営業所)

KMバイオロジクス株式会社は、2018年7月に「動物用ワクチン」「人体用ワクチン」「血漿分画製剤」等の事業を一般財団法人 化学及血清療法研究所から承継いたしました。

KM1811-1

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | | | |
|-----------|-------------------------------------|-------|----------------------------------|
| 1月20日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 With Youさいたま） | 2月24日 | ボウリング大会（さいたま市 浦和国際ボウル） |
| 1月20日 | 南支部学術講習会（さいたま市 TKPガーデンシティPREMIUM大宮） | 2月26日 | 第2回畜産懇話会・畜産会役員会（熊谷市 ホテルヘリテイジ） |
| 1月20日 | 西支部新年会（川越市 川越東武ホテル） | 3月3日 | 関東・東京合同地区獣医師会理事会（茨城県水戸市 三の丸ホテル） |
| 1月23日 | 埼玉県狂犬病予防協会研修会（桶川市 さいたま文学館） | 3月3日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館） |
| 1月27日 | 東支部新年会（越谷市 越谷サンシティ） | 3月8日 | 狂犬病予防委員会・班長会議（さいたま市 清水園） |
| 2月3日 | 北支部学術講習会（熊谷市 ホテルシティーフールドかごはら） | 3月10日 | 小動物臨床講習会（千葉県千葉市 TKPガーデンシティ千葉） |
| 2月8日 | 日本獣医師連盟通常総会（横浜市 新横浜グレイスホテル） | 3月14日 | 第5回総務委委員会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） |
| 2月8日～10日 | 日本獣医師会獣医学術学会年次大会（横浜市 新横浜プリンスホテル） | 3月17日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 With Youさいたま） |
| 2月11日 | 南支部学術講習会（さいたま市 埼玉会館） | 3月17日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館） |
| 2月15日～17日 | 第15回日本獣医内科学アカデミー学術大会（横浜市 パシフィコ横浜） | 3月22日 | 第6回理事会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） |
| 2月20日 | 集合狂犬病予防注射資材売買契約会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 3月24日 | 北支部学術講習会（深谷市 深谷男女共同参画推進センター） |
| 2月20日 | 埼玉県豚コレラ防疫対策会議（さいたま市 埼玉会館） | | |
| 2月21日 | 食肉衛生技術研修会（さいたま市 県食肉衛生検査センター） | | |

編集後記

待ち遠しかった春が梅の香りとともにやって来ました。暦の上での立春は2月4日でした。芭蕉の句に

『手鼻かむ 音さへ梅の さかり哉』

とあります。江戸時代元禄の世にも梅花の早春の頃は冷たい風に水っ洩がしたたり落ちたのか、スギ花粉のせいなのか手鼻をかむこともあったようです。

現代の俗世は、豚コレラの再流行で緊張の連続です。2月20日現在、岐阜県に発生した豚コレラは長野県、愛知県、滋賀県、大阪府へ拡大し糸魚川線を越え関東地方へも拡大する勢いです。この緊急事態に国は家畜伝染病予防法に基づく防疫措置として、発生農場における同居豚を含む患畜および疑似患畜の殺処分を実施しています。昨年9月9日以来現在まで約4万7千余頭が殺処分されています。ワクチンもなく獣医学が未熟な明治時代なら防疫措置としての殺処分も理解できますが、有効なワクチンが存在している現在ではワクチンを使用しない殺処分に頼る防疫措置は野蛮な愚行と言えましょう。国は豚コレラ清浄国の看板を下ろしたくないようですが、豚肉輸出の現状は、2017年における輸出量は約540トン、77%が香港、17%ガシガポール（財務省、貿易統計より）であり、2020年の輸出目標は1,000トン12億円を目指しているとのこと。言い換えれば、10億円を稼ぐために岐阜県、愛知県さらには長野県の養豚、ひいては日本の養豚業を賭場に差し出しているともいえる無謀な前近代的な政策と言えましょう。かつては、境界を接する隣村に家保の職員が出入りし病性鑑定が始まったとの情報でその晩のうちに全戸に豚コレラの生ワクチンを接種したおかげで、豚コレラ発生の発表を冷静に受け止め、豚コレラの蔓延を阻止したこともありました。そのような経験は、県内の多くの

獣医師が共有していると思います。養豚農家は獣医さんによって救われたと実感したものです。今は、清浄国の看板の下に4万頭を超える累々とした豚の死体が岐阜や愛知の山野を埋め尽くしています。机上では防疫措置としての殺処分命令が下され、養豚場は殺戮の場と化しています。そこには獣医学の片鱗すら見当たりません。我々獣医師の使命は、豚の生命を守ると同時に養豚農家、国民の生命・財産を守ることになります。国は2月22日付で野生のイノシシに豚コレラの経口ワクチンを散布することを決定したと発表しました。我々の使命は野生のイノシシの命を守るのではなく、生ワクチンを使用して養豚農家の抱く豚コレラに対する恐怖心を開放することに尽きます。目前にいる養豚農家一戸の経営や生活を守ることができなくて、獣医師であるとは言えません。

累々とした屍を前にして思うのは、インパール作戦によって戦死した多くの日本兵の事実です。勇ましい精神主義で作戦を立案実行し、惨敗の責任を逃れ従軍した10万の将兵の7万は戦病死し累々とした屍を白骨街道と言わしめた惨禍と重ね合わせてしまいます。霞が関の机上での作戦と4万7千の屍は、政策ビジョンの無い『no政』＝『農政』の典型ともいえましょう。

感染症に対し未開であった時代の医学に基づく医療政策では、ハンセン氏病は隔離されましたが、医学の進歩を政策に反映させて開放政策に転換しました。獣医療政策においても同様に、獣医学の進歩を政策に反映させるような柔軟な姿勢が求められましょう。明治以来の感染症殺処分政策からの脱却が求められています。

獣医学の進歩が広く国民に還元されることを願いつつ、梅の香とともに2月号の会報をお届けいたします。（初雁）



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

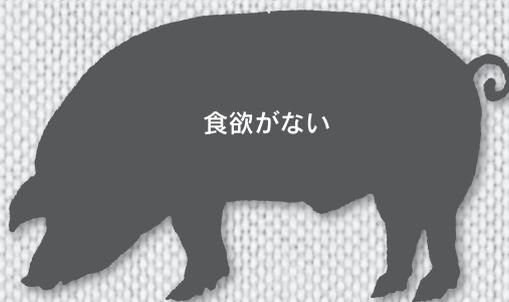
わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4
TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564



日本獣医師会・獣医師会活動指針

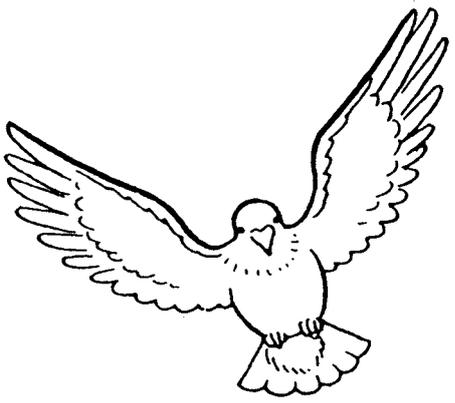
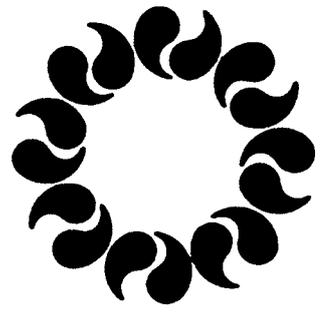
－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとその責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

彩の国



さいたま

